

# 若手教員を対象とした理科実験(実習)研修会 2024年度 フォローアップ研修会

参加費無料  
(保険料込み)



「もっと観察実験を活かした探究的な学習がしたいけど…」  
「器具のメンテナンスの仕方は？」  
「学ぶことの有用性を伝えたい」など、  
「観察実験をより効果的・能率的に実施するためにはどうしたらよいのか」といった声にお応えしたく「フォローアップ研修会」を科学技術館にて開催いたします。

主催:公益財団法人日本科学技術振興財団  
日時:令和6年12月27日(金)9:30~17:30  
場所:科学技術館6階 第1会議室  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1  
定員:15名 ※先着順  
参加費:無料 交通費:各自負担  
申込み:Googleフォームにてお申し込みください  
<https://forms.gle/GfxF1UFrtJ7ZSPw4A>  
締切:令和6年12月23日(月)



9:30 ~12:00	研修会※ 3つの講座を 40分ごとに 受講ください。	A ふだんの授業で、探究的な学びを深めるには? ~学習指導要領を読み解くと見える課題解決学習のすすめ~
		B モノづくりを通して理科の学ぶ意義を考える ~はんだ付けとモーターの作製~
		C 顕微鏡の基本操作とメンテナンス技術等を身に付ける ~すべての生徒が顕微鏡の基本操作を身に付けるためには~
12:00 ~13:00	昼食	ご用意させていただきます。 地下食堂にてお食事ください。
13:00 ~17:30	見学会	①科学技術館 館内を自由に見学いただけます。 ②放射線教育発表会( <a href="https://www.radi-edu.jp/seminar">https://www.radi-edu.jp/seminar</a> ) 日本全国から放射線教育に熱心な先生方が集い、情報交換をしています。放射線教材コンテスト、放射線授業事例コンテストの受賞作品や福島県での授業事例紹介等を通じて研修いただけます。

※特定の観察実験を体験するのではなく、みなさんが授業の中で観察実験する際に困っていることや不安に感じていることなど、ひろく授業を実施するために役立つ知識や基本的な技能をお伝えする研修内容となります。

<事務局>

公益財団法人日本科学技術振興財団 人財育成部 エネルギー・環境グループ  
TEL:03-3212-8504 FAX:03-3212-8596 MAIL: scied@jsf.or.jp

○○○○○	①中学校 ②7年目 ③興味関心を引き出す授業、生徒主体の授業 ④生活指導 ⑤今日一日よろしくお願いします。	No data
○○○○○ ○	①中学校 ②6年目 ③生徒の興味を引き出すこと ④生活指導が止まないこと ⑤こういう時に気の利いた事をかけないのが悩みです。	No data
○○○○○ ○	中学校 1年目 生徒が理解できる授業ができていないか 生徒との距離感 授業力を上げたいと思っている。よろしくお願いします。	No data
○○○○○ ○	①中学校 ②2年目 ③興味関心を引き出す導入・教材 ④規律順守 ⑤本日1日よろしくお願いいたします。	○デジタル化の推進 ○生徒、教員の情報モラル ○グローバル化に伴う国際理解教育が求められている ○教員に対する負担の考慮 ○学びの自己調整→自由進度？
○○○○○ ○	①中学校 ②1年目 ③生徒中心の授業展開 ④国語、数学の授業 ⑤よろしくお願いします。	・新しい時代に適応 ・増やすより減らす ・学びの量の見直し ・教師の余白 ・生成AI
○○○○○ ○	①中学校 ②2年目 ③安全に実験をさせること ④生活指導の仕方、視野の広さ ⑤よろしくお願いします。	・主体的という言葉が数多く使われている ・デジタル学習ができる前提で作られている ・知識よりもその意味の理解やつながりを大切にしている ・国際的に遅れていることに危機感を持っている
○○○○○	①町田市立真光寺中学校 ②3年目 ③すべての生徒が興味関心をもって授業に参加すること ④生徒会で出てきた考えを実現につなげること ⑤今日一日楽しみながら参加したいです！ よろしくお願いします	子どもの主体性が課題 知識を深く理解し、日常と結びつけられるようにするのが課題 それらを改善するための学習指導要領を作成 ICT機器を活用した教育を充実させる
○○○○○ ○	①○○○○○中学校 ②1年目 ③生徒が主体的に学習するための授業づくり ④教材研究以外に時間が取られすぎる ⑤授業でいかせるように頑張ります	・デジタル教材を強くおしている ・学校現場の現状とマッチしていない ・授業時数が足りない。 ・負担増 ・生成AIの活用をおしているが、年齢制限等の問題は大丈夫なのか。 ・新しいものに慣れたところでまた新たなものに切り替わっていく不安
○○○○○	①○○○○○中 ②4年目 ③評価の付け方 考察で何を考えさせるか ④進路指導 ⑤よろしくお願いします。	ただ知識を蓄えるだけでなく、 ①主体的に ②得た知識を使って考え、活用し ③変化の多い時代を生き抜くことができる 生徒を育成することが求められる そのために ①ICT活用 ②主体的・対話的で深い学び を実施する